

全学同窓会臨時役員会次第案

事務局

- ◆日時:2018年1/22(月)18:00~20:00 於、文交C・創造都市研究科108教室(駅前第2ビル6F)
- ◆出席:児玉会長、副会長(有)牧野、(理)市村、(工)黒山、(医)生野、(生)小西(岸本会長から交代)、(看)朽木(白田会長から交代)、(監事)人見、小川(広報)羽原(五代)下崎、大西(事務局)植田、齋藤、上村、渡邊 欠席:(有)尾山、(創)喜多 <敬称略>

1、五代友厚記念事業関連

1)「五代研究」について【資料1】

(1)大商・大阪企業家ミュージアム宮本館長との打合せ結果報告(2)今後の進め方検討

2) 寄付講座「国際ビジネス講座」関連進捗状況報告及び「海外インターンシップ」試行プログラム報告【資料2】

3)その他:ホームカミングデー五代イベント時作成パネルの常設展示について

2、冊子化全学同窓会会報(2018年夏季号より発行開始)進捗報告【資料3】

3、「各支部での新卒生歓迎会」実施取り組みについて(新規取組み提案)【資料4】

1)目的:各支部で新卒生歓迎会を実施し、新卒生を支部活動に誘うことにより、若手層(女性を含む)の同窓会活動への参画拡大を図り、支部活動の更なる活性化と共に母校と在学生支援につなげる。

2)概要:(1)本年の卒業式(3/22)にて新卒生全員に各支部開催の「新卒生歓迎会」招待状を手渡す。

(同窓会活動案内チラシ、国内・海外各支部連絡先一覧表とともに)

(2)費用(Max5,000円/人)は各支部と同窓会(新卒者の出身同窓会別出席者数で按分負担)とが折半で負担。

※上記について本日の役員会にて概略承認を得たのち、3/10開催の全国支部代表者会議にて詳細検討、決定して行きたい。

4、今後の予定・スケジュール案【資料5】

<ポイント>①全国支部代表者会議(3/10)

②卒業式(3/22<木>):「新卒生名簿収集」業務のほか「新卒生歓迎会」招待状等手渡し

③入学式(4/5<木>):各同窓会会費徴収関連(3/14入学手続日、資料手渡し、4/6納入確認日)

④戦没学友の碑、献花の集い(大学・同窓会共催4/10<火>)

⑤全学役員会(案:4/20<金>~27<金>18-20):決算、事業取組案・予算案審議

⑥全学役員会(案:10/22<月>~26<金>18-20(関連:全学監査、案、10/15<月>~19<金>))

⑦ホームカミングデー(大学・同窓会共催11/3<土>)

※次回役員会:(案:4/20<金>~27<金>18-20):決算、事業計画組案・予算案審議

以上

1、五代友厚記念事業関連

1)「五代友厚研究について」(大阪商工会議所・大阪企業家ミュージアム所蔵資料活用) 【資料1】

※前回役員会(17年/10)で、研究の進め方について種々論議を行なった結果、児玉会長と大阪企業家ミュージアム宮本館長とで今後の研究の進め方について意見交換を行なった上で方向決定することとなった。

(1)大阪企業家ミュージアム宮本又郎館長訪問(12/6(水)11時～)

(大商・興津厚志部長、廣田雅美事務局長同席、児玉会長、森本・羽原有恒会両副会長、植田出席)

①当方の要請「大阪商工会議所編纂の五代友厚伝記資料(全4巻)をベースに、史実に基づいて在学生や若い卒業生層にも判り易い「五代友厚の生涯・一生的な伝記・読み物」をまとめた。

ついては大商所蔵の五代友厚伝記資料等の閲覧等ご協力をお願いしたい」に対して、宮本館長から快諾が得られた。

②尚、宮本館長からは「上記とは別に、五代について誰にでもわかりやすい写真・イラストを多用したものをまとめた」と考えており、市大と大商で協力して実現できればいいと思う」また、自分自身として五代についてまとめたものを著作する予定はない」とのお話があった。

(2)今後の進め方

上記に沿って担当頂く候補者として八木孝昌氏(経済学部昭和41年卒、大阪市立大学生協専務理事、大学コンソーシアム大阪事務局長、帝塚山学院常務理事歴任〈尚、学院長は児玉会長〉、万葉歌の研究で文学博士)を提案したい。

※事前に八木氏の著述論文「帝塚山派文学学会掲載、藤澤桓夫の研究」をご参考にお届け済み。

<注>帝塚山派文学学会

- ・帝塚山派文学学会は帝塚山学院創立100周年記念事業の一つとして、学院ゆかりの作家、詩人、歌人、俳人(帝塚山周辺に居住:藤澤桓雄、石濱恒夫、庄野潤三<芥川賞作家>、帝塚山学院卒や教員:阪田寛夫<芥川賞作家>長沖一、寿岳文章、小野十三郎等々)が対象の研究会
- ・上記の運営委員で事務局担当が市大卒八木孝昌氏(尚、学会の顧問は木津川計氏〈文昭39卒〉で氏が学会設立を提唱されたとのこと)

再検討

2) 寄付講座「国際ビジネス講座」関連進捗状況報告及び「海外インターンシップ」試行プログラム報告

【資料2】参照

3) その他

(1)ホームカミングデー五代イベント時作成パネルの常設展示について

大学史資料室展示場(学情C、6F)への展示を大学史料室長安竹教授に要請中。

※上記関連の費用については、当面は「五代銅像建立寄付金」(残、約1,000万円弱有り)から充当するが、以降は再び寄付を募ること等が必要。

20180122

五代友厚記念事業委員会

国際ビジネス演習・海外インターン制度の設置について（案）

1. 国際ビジネス演習（五代友厚寄附講座）の設置について

目的：日本社会においては、グローバル人材の育成が喫緊の課題となっている。専門、全学共通の関わらず、こうした人材育成の機会を提供することが、本学に求められている。

これまで、国際ビジネス関係の講義科目はそれぞれの分野で設置されているが、既存科目では、実際のビジネスの経験値的な内容を習得するものでないので、今回、海外での実務経験豊富な卒業生等を講師に招いて、開設するものである。

科目名：国際ビジネス演習―五代友厚寄附講座 科目区分：総合教育科目A

単位：2単位 対象：2回生以上で定員20名を原則

開講日：平成30年前期（4/11～7/25） 水曜日 5現目

講義内容：各講師は、2回を担当、1回目は、各国のビジネス習慣・慣習・教育等の講義
2回目は、受講生と対話しながら理解を深める

予算案：30万円：講師交通費・謝金、ティチャーアシスタント（以下、TA）費用
20万円：海外招待者、その他経費

2. 海外インターンシップの実施

目的：夏休みに、本講座講師のネットワーク、同窓会海外支部のネットワークを活用して海外（主はアジア地域）での実務を経験しながら、語学スキル、国際コミュニケーション力、教養を高めることを目的とする

対象：本国際ビジネス演習を受講した学生のうち、海外インターンを希望する者（3名程度）

時期：平成31年夏季休暇

予算：150万円（50万円/一人 3名）：渡航費・滞在費

なお、平成30年前期受講者のうち、1名を試験的に、短期に海外インターンを体験してもらう。費用については、30万円程度（渡航費・滞在費）を予算計上する。

3. 五代国際ビジネス講義運営委員会（仮称）の設置

上記の国際ビジネス演習、海外インターンを円滑に運営するために「五代国際ビジネス講義運営委員会（仮称）」を設置する。

構成メンバー：五代友厚記念事業委員会メンバー中心に構成

担当内容：講師と当日までの案内・当日の対応、TAとの連携、講師と学生との中継

以上

再検討

全学同窓会報の合冊誌に関する実施要領

1. 大阪市立大学同窓会報「有恒」の概要（確認）

- 1) 印刷製本先：(株)日本プリンティング（社長：大西基勝、商昭52卒）
- 2) 発行回数：年2回（1月新年号、7月夏季号）
- 3) 誌面：52頁、A4サイズ（オールカラー）本文横書きベース、縦型無線綴じ
- 4) 印刷部数：50,000部
- 5) 料金：1回当たり3百万円（印刷・製本・搬入等、1回目はデザイン別途20万円）

2. 会報編集部会：

- 1) 編集スタッフは当面10名にて構成する。
（有恒会4名、理系各学部及び看護、創造都市研究科各1名をベースとする）
- 2) 上記以外に広告担当2名及び学生スタッフ2名（Hjicho）は別枠とする。

3. 編集方針：

- 1) 世代を超えて読まれる同窓の会報誌
- 2) 大学（母校）と共に歩む会報誌
- 3) ネット媒体（ホームページ及びメールマガジン）を補完する会報誌

4. 合冊誌第1号（同窓会報「有恒」夏季号）の発行予定：6月下旬～7月上旬

5. 紙面構成：

- 1) 同窓会関連：3/4（話題、出来事、行事・催事等を掲載するも主たる中心は同窓生の投稿—「会員のひろば」「読者の声」「同窓短信」等）
特に、国内外支部の活動紹介及び投稿等に注力する。
- 2) 大学関係：1/4（トピックス、行事等特に、国際交流、地域貢献、産学官連携等重点課題の取組み、学生関連（Hjichoが取材）はクラブ四者協との連携をはかる）

6. 広告関係：

- 1) 目標金額は400万（1回当たり—200万円）
有恒会報の広告実績（年300万円）をベースに各学部で広告収入に取り組む。
- 2) 広告収入に取り組むためのインセンティブを検討する。（このバック・マージンは各学部が負担する会報誌の郵送費等に充てる等検討）
以上

新卒者歓迎パーティの開催について (案)

各同窓会、各支部と連携協力しながら、新卒者（平成 31 年 3 月卒業）を招待して、6 箇所の地区（大阪、兵庫、京滋、奈良、関東、東海）にて新卒者歓迎パーティを開催する。

なお、規模の小さな支部については、各支部総会にて、招待する。

なお、費用については、会費（一人 5,000 円を限度）とし、半額は支部が負担、半額は、各同窓会で、新卒者出席者の出身学部割合により按分して負担する。

なお、学位授与式（3/22）にて配布する。

なお、詳細については、事務局で詰めていく。

費用負担試算

会費を 5000 円、卒業生（約 2500 名）の 4% の 100 名が参加として試算

卒業生割合：有-44 理-13 工-21 医-7 生-9 看-3 創-4

・支部負担は、25 万円負担

・各学部同窓会は、25 万円負担

（有-10 万円、理-4 万円、工-5 万円、医-2 万円、生-2 万円、看-1 万円、創-1 万円）

招待状タタキ案（2つ折DM、封筒有）

